

公益財団法人青森学術文化振興財団
令和3年度事業報告附属明細書

区 分		交付決定		交付実績	
		件数 (件)	助成決定額 (円)	件数 (件)	助成確定額 (円)
青森県内の地域における学術・文化の振興に係る事業に対する助成	①地域の振興に係る研究事業(チャレンジ)	6	5,633,000	6	4,700,103
	②地域の振興に係る研究事業(一般)	24	6,380,000	23	5,017,638
	③公開講座開催事業	20	3,947,000	19	2,602,390
	④学術・文化振興事業	4	969,000	4	881,191
	⑤学術図書出版事業	2	585,000	1	262,896
	小計	56	17,514,000	53	13,464,218
青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成	⑥人材育成事業	2	2,991,000	1	136,584
	⑦教員研修事業	0	0	0	0
	⑧国際交流・教育事業	0	0	0	0
	小計	2	2,991,000	1	136,584
合計		58	20,505,000	54	13,600,802

[青森県内の地域における学術・文化の振興に係る事業に対する助成]

①地域振興に係る研究事業(チャレンジ)

青森県内の地域振興を目的とした研究事業で、他の大学等、行政機関、経済団体等と連携して行うもの

[助成決定額] 6件 5,633,000円

[助成確定額] 6件 4,700,103円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター	センター長 李 永俊 副センター長 平野 潔 深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクトチーム代表 原 克昭	深浦町における歴史文化資源調査とその活用による津軽青森地域振興事業	3回目	深浦円覚寺の資料を再分類、データ構築し「円覚寺真言・修験聖教類及び文書」全2135点が県の重宝指定を受けた。記念フォーラムをオンラインで開催し、研究及びフォーラムの成果を「深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書」第4集(県重宝指定記念号)として刊行した。	県重宝指定を記念したフォーラムを弘前・深浦・東京をオンラインでつなぎ開催し、県内外の一般の方及び研究者に広く情報配信した。報告書を関係機関に配布するとともに、リポジトリに掲載した。リポジトリ等掲載:令和4年3月	1,000,000	1,000,000
2	青森大学社会学部・楡引研究室	教授 楡引 素夫	『人口減少×新幹線』社会の再デザイン②ーポストコロナ時代の移住・定住促進および受け皿づくりの研究と提言事業	2回目	県内自治体の移住・定住施策や移住・定住と新幹線との関係性等に関するアンケート調査やヒアリングを行うとともに、県外自治体のオンライン調査を行い、ポストコロナ時代の移住・定住促進について検討した。	報告書を県内市町村や図書館等に配布するとともに、リポジトリに掲載した。東北地理学会秋季学術大会で報告した。講演会資料に掲載した。リポジトリ等掲載:令和4年2月	964,000	280,217
3	青森大学SDGs研究センター	藤 公晴	SDGs時代の地方創生における高等教育機関の役割に関する調査研究③事業	3回目	大学の初年度教育におけるSDGsの導入、多様な連携による地域の自然の再評価、教材作成、海外提携大学とのSDGs・語学教育を実施し、高等教育機関の役割や課題を整理した。	報告書をリポジトリに掲載した。リポジトリ等掲載:令和4年3月	889,000	888,469
4	八戸工業大学 工学部	教授 田中 義幸	種差海岸にてドローンを活用して、市民・学生協働の学術成果をあげることににより八戸市の魅力を再認識する事業	2回目	八戸市の種差海岸で14回にわたりドローンを用いた空撮及び合成を行い、季節変化の様子を確認したほか、地上植生を位置情報とともに記録した。	研究内容を放送大学で講義し大学ホームページに掲載した。令和3年度の講義に活用した。令和4年度の公開講座等で活用予定。リポジトリ等掲載:令和3年6月	950,000	852,388
5	八戸工業大学	小坂谷 壽一	「自動採譜装置」を使って、楽譜の無い邦楽楽器(津軽三味線)の譜面化と消えゆく伝統音楽の保存を目的とした事業	新規	プロの三味線奏者の演奏及び伝統音楽保存用自動採譜装置により「津軽じょんがら節」等の青森県民謡の採録と譜面化等を行った。	八戸市教育委員会等の公的教育機関に自動採譜装置で製作した楽譜を寄贈した。日本音響学会秋季全国大会でのウェブ講演等により研究成果を公表した。大学ホームページに掲載した。リポジトリ等掲載:令和4年3月	950,000	950,000
6	八戸学院大学	講師 井上 丹	浅虫地域における持続可能な観光振興・地域づくりのための実証調査事業	新規	浅虫観光協会、浅虫まちづくり協議会等と連携した「あさむし月末マルシェ」の開催や、新たな観光企画としてキャンプ・グランピング実験を行ったほか、観光地域づくりの体制構築の検討やプロモーション活動を行った。	研究成果を八戸学院地域連携センター「産業文化研究第31号」に掲載した。浅虫温泉観光協会会長及び浅虫まちづくり協議会に報告し、関係団体ホームページで公開した。リポジトリ等掲載:令和4年3月	880,000	729,029

②地域の振興に係る研究事業（一般）

青森県の地域振興を目的とした研究事業

[助成決定額] 24件 6,380,000円

[助成確定額] 23件 5,017,638円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	遠藤 哲哉	イノベーション創造と自治体経営戦略研究事業	新規	青森県内の地域コミュニティやフィリピンの海外コミュニティと連携し、地域イノベーションに係るフィールドワーク型の調査及びプロトタイプ型実践的調査(プロジェクトを動かすことにより課題を発見し、モデルの精緻化を図るもの)を行った。	報告書を大学ホームページで公開した。関連する研究会等において成果を還元した。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	285,000	248,920
2	青森公立大学	丁 圏鎮	浅虫地域力の強化事業	3回目	浅虫地域において、地域の魅力発信や、住民との交流を広げ地域の活性化を図るため、学生主催のイベント開催や観光商品開発を行った。	研究成果を大学ホームページ、地研ニューズレター等で公表した。 浅虫まちづくり協議会(ウェブ開催)及び大学で活動報告を行った。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	285,000	285,000
3	青森公立大学	教授 香取 真理	遠隔英会話授業における効果的なeポートフォリオシステムの構築事業	新規	青森県内の大学生を被験者とし、英会話レッスンの学習状況を記録・提示し、自己調整や内省を促すeポートフォリオシステムを構築した。	研究成果をACTA International Conference(英語教授法の国際会議)にリモート参加し発表した。大学ホームページに掲載した。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	270,000	47,642
4	青森公立大学 経営経済学部	佐々木 てる	青森県内の外国人材と多文化化についての研究事業	2回目	青森県内の外国人の受入れ団体及び行政の視点の調査や技能実習生等への聞き取り調査を実施し、多文化共生の可能性を検討した。	報告書を大学ホームページで公開した。青森県内の訪問先や聞き取り先に情報提供した。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	285,000	245,065
5	青森公立大学 経営経済学部	佐々木 てる	灯籠文化圏に関する研究事業	新規	祭礼における灯籠文化について、青森ねぶた祭のほか、東北地方や北海道の状況や、他の祭礼との関連性等を調査した。	報告書をホームページで公開した。関係団体に配布した。公開講座ねぶた学のシンポジウムで報告した。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	270,000	270,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
6	青森公立大学	丹藤 永也	青森県版中学校英語シャドーイング教材の開発 事業	新規	青森県中学生の英語力の向上のため、青森県版英語シャドーイング教材を作成し、音読やシャドーイングについての理解を深め、教材を活用するための研究会を開催した。	中学校英語教員等を対象に、音読やシャドーイングに関する研究会を開催した。作成したシャドーイング教材を青森県教育委員会に提供した。大学ホームページに事業報告を掲載した。リポジトリ等掲載: 令和4年4月	272,000	213,941
7	青森公立大学	石本 雄大	「少子高齢化地域における生業および生活の在来知に関する再評価と活用」事業	2回目	少子高齢化地域における生業及び生活の在来知について、地域の食資源を活用した地域ブランド構築に係る検討、地域の祭りに関する写真資料の収集・写真展の開催、地域情報発信促進のための講習会を実施した。	大学論纂及びリポジトリに掲載した。地研ニューズレターに掲載しホームページで公開した。写真展及び講習会を開催した。リポジトリ等掲載: 令和4年4月	257,000	86,050
8	青森県立保健大学	井澤 弘美	青森県産ホウレンソウの機能性表示食品化事業	新規	青森県産ホウレンソウのルテイン含有量を調査し、市販される1袋内に機能性を発揮するための1日摂取目安量である10mg以上のルテインが含まれることを確認した。	青森県保健医療福祉研究発表会で研究成果を発表した。青森県主催の「寒締めほうれんそうの機能性表示を見据えた生産・販売検討会(下北地域)」で研究成果を発表し、生産者・農協関係者・自治体関係者等に情報提供した。同様の検討会を三八地域を対象として行った。大学年報に研究成果を掲載予定。リポジトリ等掲載: 令和4年6月	300,000	300,000
9	青森大学薬学部	准教授 佐藤 昌泰 薬学部長・教授 三浦 裕也 教授 大越 絵実加	地域住民の意識向上に寄与する健康志向の調査-感覚器機能を用いたフレイル・サルコペニア予防の啓発活動(2回目)- 事業	2回目	【事業廃止】 新型コロナウイルス感染拡大により、事業の中心である青森大学学園祭薬学フェスティバルが中止となったこと及び直接手を触れる健康チェック機器による感染拡大が懸念されるため事業廃止。	—	300,000	0
10	青森大学社会学部・楡引研究室	教授 楡引 素夫	新青森駅・青森駅を核とした市民協働の場づくりおよび情報発信の強化に関する研究・実践事業	3回目	新青森駅とその一帯の姿や活動の記録、新青森駅を舞台としたおもてなしのあり方に関する学生の活動の企画等を行い、ニュースレター等による情報発信等を行った。新幹線駅に係る長万部高校と青森西高校の連携の端緒となった。	おもてなしフォーラムをオンライン・対面のハイブリッド方式で開催した。ニュースレターを発行し情報発信した。日本地理学会春季学術大会(オンライン)でポスター報告した。報告書をリポジトリに掲載した。リポジトリ等掲載: 令和4年3月	283,000	136,824
11	青森大学	鹿内 史	青森大学子どもの居場所事業	新規	経済的に厳しい環境にある子どもたちやひとり親世帯の子どもたちを対象に、青森大学内に大学生等が運営する居場所を設置するため、研修、ボランティア活動、実践調査活動を行った。	研究成果をリポジトリに掲載した。令和4年度に公開講座等で紹介する。リポジトリ等掲載: 令和4年4月	253,000	160,054

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
12	青森中央学院大学 経営法学部	名誉教授 高橋 興	市町村による〈高校魅力化〉の具体的な取組に関する研究③事業	3回目	公立高校存続を目指す立地市町村による入学者増につながる取組、いわゆる高校魅力化の事例を調査し、取組内容の見直しや協働体制の構築の必要性を確認した。	研究内容をリポジトリに掲載した。県内全市町村の教育委員会等に報告書を配布した。令和4年10月に大学主催の教育フォーラムで紹介予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年3月	285,000	285,000
13	柴田学園大学	前田 朝美	体づくりと体力向上のための食育〜いつのミネラルが大切か〜事業	2回目	食事から摂取したカルシウム等のミネラルが効率よく体内で利用される時間帯や、ミネラルの不足を効率よく防ぐために、いつ、どのようなバランスでミネラルを摂取するのがよいか、食後のミネラルの尿排泄を比較することで検討した。	研究成果を大学ホームページに掲載した。令和4年度に学会及び出前講座で報告するほか、紀要に掲載予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年3月	285,000	285,000
14	柴田学園大学 生活創生学部健康栄養学科	助教 花田 玲子	青森県の地域住民を対象とした生活習慣病予防のための食事スタイル(Active cook)の研究と献立冊子を用いた提案事業	2回目	地域の40〜50代を対象に食事づくりの実態と課題を調査し、生活習慣病予防のための食事スタイル(Active cook)の要素を取り入れた献立冊子を作成・配布した。配布後にアンケートを実施し効果を検証した。	研究内容をリポジトリ、紀要及びホームページに掲載予定。つがる市生活改善グループ連絡協議会の勉強会での献立冊子の配布及び本学入学者への献立冊子の送付により情報提供した。 リポジトリ等掲載: 令和4年9月	285,000	285,000
15	柴田学園大学	特任教授 石戸谷 繁	高校生の進路選択と「地域」への意識に関する研究事業	新規	青森県の進学校の生徒を対象に、地域と進路に対する意識等についてアンケート調査を行い、高校生の進路選択と高校教育が果たすべき役割を検討した。	研究成果を日本キャリア協力学会北海道・東北地区部会第2研究会で報告するとともに、大学ホームページに掲載した。研究協力校及び青森県教育委員会に調査報告書を提出し、協力校の進路指導や生活指導に役立てていただく。 リポジトリ等掲載: 令和4年4月	247,000	86,863
16	柴田学園大学	佐藤 梨沙	健康づくりにおける食の嗜好性を考える事業	新規	「食の嗜好性と健康」をテーマに、ラットを用いて、自由に食べ物を選べるカフェテリア形式の環境における食嗜好への性差や環境の影響を調査するとともに、学生にアンケート調査を実施し、食事と間食の嗜好性を調査した。	研究成果を紀要に掲載予定。令和4年度以降、講演会や出前講義等で発表予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年9月 予定	270,000	267,982
17	柴田学園大学	助手 齋藤 望	朝食欠食による嗜好性とその後の摂食行動から肥満予防対策を検討する事業	新規	肥満予防へとつなげるため、健康な大学生を対象に、朝食欠食によるエネルギー不足時など、エネルギー摂取のシグナルである甘味と脂肪味の嗜好性が高まる条件を調査した。	研究成果を紀要に掲載予定。第69回日本栄養改善学会学術総会で報告予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年9月	285,000	285,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
18	柴田学園大学	助手 織田 夏海	リンゴの摂取と肝臓機能に関する研究事業	新規	ラットを用いてリンゴ果汁による肝臓機能及び肝臓グリコーゲンに与える影響を糖質と糖質以外の機能性成分について分析し、リンゴ摂取の効果を確認した。	研究内容をリポジトリに掲載予定。大学祭においてポスター掲示により情報提供予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年9月	285,000	276,939
19	柴田学園大学	助手 江良 真衣	魚の調理法の違いによるパルプアルブミンの定量事業	新規	魚類アレルギーの主なアレルゲンであるパルプアルブミン量について、6種類の魚類の調理方法を変えて測定し、低アレルゲン化できる調理方法は魚種により違いがあること、魚類アレルギー患者等でも取り入れやすい調理方法(缶詰)を確認した。	研究内容をリポジトリ及び紀要に掲載予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年9月	285,000	285,000
20	柴田学園大学短期大学部	講師 佐藤 ゆかり	津軽地域の小学校におけるプログラミング教育に関する実態調査事業	新規	令和3年度の津軽地域の小学校のプログラミング教育に係る取組状況を調査し、小学校及び教員が抱える課題を把握した。	研究内容を大学ホームページに掲載した。 リポジトリ等掲載: 令和4年2月	111,000	85,456
21	柴田学園大学短期大学部	助教 江莉川 淳子	絵本の読み聞かせによる子育て支援事業	新規	認定こども園柴田幼稚園の協力を得て、保護者に対する絵本の読み聞かせに関するアンケート及び読み聞かせの実践を行い、子育て家庭におけるコミュニケーションを深めるなどの読み聞かせの効果を確認した。	研究内容を大学ホームページに掲載した。令和4年度以降の公開講座等において、子育て家庭に向けた絵本の読み聞かせの重要性を伝える活動を行う。 リポジトリ等掲載: 令和4年2月	131,000	47,730
22	柴田学園大学短期大学部	北山 育子	津軽地方の郷土料理の研究事業	新規	平成24年から10年間にわたり公開講座で実施した郷土料理のレシピを再検討し、「伝え継ぎたい津軽のおかず」を発行し、一般市民、学生等に提供した。	「伝え継ぎたい津軽のおかず」を一般市民、学生、関係機関に配布し、保育園の給食への活用や津軽地方の郷土料理の保護・継承に寄与した。出版記念報告会の内容を年報及び大学ホームページに掲載した。 リポジトリ等掲載: 令和3年12月	285,000	285,000
23	八戸工業大学	星野 保	県内の伝統的小規模発酵食品に含まれる食経験を有する未知微生物の産業利用の可能性に関する調査事業	新規	東通村及び八戸市において、味噌玉の作成及び菌類の単離を行い、三戸町の醸造元の菌株と性質を比較した。また、津軽地方の「すしこ」等、県内の発酵食品から微生物の採集、機能評価、同定を行い、利活用の可能性を検討した。	日本テンペ研究会2021年度大会での発表や論文投稿を行い、その内容を日本テンペ研究会誌及びリポジトリに掲載予定。 研究成果を令和4年度の公開講座で提供予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年5月	285,000	285,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要(事業廃止理由)	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
24	八戸工業大 学	准教授 川守田 礼子	「南部菱刺し」魅力発信コ ンテンツ調査研究事業	新規	南部菱刺し伝統工芸士や博物館・資 料館などの関連施設への訪問調査 により南部菱刺しの情報を収集し、 大学生の若者らしい感性を取り入れ た南部菱刺しブックレット及びデジタ ルブックレットを作成・公開し、南部 菱刺しの周知・魅力発信を行った。	南部菱刺しブックレットを作成し一般の方や関係機関に配布し たほか、ラジオ等でPRした。デジタル版冊子を大学ホームペー ジ等に掲載した。研究成果を令和4年度に学会で発表予定。 リポジトリ等掲載: 令和4年2月	281,000	264,172

③公開講座開催事業

青森県内で行う公開講座で、教育、学術又は文化に係るものを開催する事業

[助成決定額] 20件 3,947,000円
 [助成確定額] 19件 2,602,390円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	学長 香取 薫	青森圏域連携中枢都市圏 公開講座事業	新規	「青森圏域連携中枢都市圏ビジョン」を踏まえ、DX推進に伴う地方回帰トレンド及び地域課題解決へのワーケーション活用に係る公開講座を平内町及び外ヶ浜町で各1回開催した。 [受講者数:19名]	大学ホームページ及び地域連携センター機関紙に報告書を掲載した。	300,000	194,580
2	青森公立大学 経営経済学部	教授 佐々木 てる	青森公立大学公開講座 ねぶた学事業	継続	「ねぶた祭中止を乗り越えて:ねぶた師の想いとその取り組み」をテーマとした公開講座を6回開催した。 [受講者数:255名]	教員の専門的研究の成果を市民に還元した。青森ケーブルテレビで放送した。	300,000	300,000
3	青森公立大学	教授 藤井 一弘	2021年度青森公立大学大学院公開セミナー 事業	継続	「複数の視点・視座“Perspectives II”」をテーマに、教員の研究そのものを紹介する大学院公開セミナーを4回開催した。 [受講者数:71名]	教員の専門的研究の成果を市民に還元した。	285,000	194,071
4	青森公立大学	教授 遠藤 哲哉	起業とイノベーションで 青森の未来を拓く実践公開講座事業（2）	継続	【事業廃止】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、講師の招へいが困難となったため事業廃止。	—	300,000	0
5	弘前大学大学院 保健学研究科	高間木 静香 北島 麻衣子 橋本 美亜	育児中の母親のためのリフレッシュ講座事業	継続	子育て支援センターにおいて、アロマオイルを用いたエアーフレッシュナー作りなど、「育児中の母親のためのリフレッシュ講座」を7回開催した。 [受講者数:59名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	163,000	162,114

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
6	青森中央学院大学 田中真寿美研究室	日本語学習支援ネットワーク会議 2021 in 青森 実行委員会 鹿嶋 彰	「日本語学習支援ネットワーク会議2021 in青森」事業	新規	「生活者としての外国人」を対象とした日本語教育に係る基調パネルディスカッション及び「外国人と医療」等の2つの分科会からなる「日本語学習支援ネットワーク会議2021 in青森」をオンラインで開催した。 [受講者数:112名]	報告書を「青森中央学院大学地域マネジメント研究所研究年報」及びリポジトリに掲載した。	296,000	60,725
7	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学特別公開講座事業	継続	「人口減少が続く地域社会における教育の在り方を考える～高校魅力化による地域活性化の方策を探る～」をテーマに基調講演とパネルディスカッションからなる公開講座を開催した。 [受講者数:105名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	232,000	232,000
8	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学サテライトキャンパス市民講座事業	継続	青森中央学院大学サテライトキャンパス等において、異文化理解や外国語会話等をテーマとした公開講座を14回開催した。 [受講者数:223名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	182,000	182,000
9	青森中央学院大学	学長 佐藤 敬 教授 成田 昌造	青森中央学院大学市町村長リレートーク事業	継続	「人づくりと地域社会」をテーマに、青森県及び岩手県の市長・町長を講師として、自治体運営の課題や解決の方策、将来のまちづくり戦略に関する講座を3回開催した。 [受講者数:248名]	大学ホームページで講演内容を配信し、当日来場いただけなかった方にも視聴いただく機会を提供した。	197,000	152,361
10	青森中央学院大学 地域マネジメント研究所	所長 小松原 聡	青森中央学院大学地域マネジメント研究所ビジネスセミナー事業	継続	「ウィズ/ポストコロナ時代の青森県経済と地域活性化」をテーマとする公開講座を開催した。 [受講者数:147名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	207,000	97,101
11	青森中央学院大学 看護学部	講師 菊池 美智子	ME/CFS啓発シンポジウム開催事業	新規	「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)の理解～ME/CFSに寄り添うケアを考える」をテーマにオンライン講演会を開催し、病気の知識、患者や家族・支援者が置かれている困難な状況、国の制度や医療体制の現状を周知した。 [受講者数:200名]	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	202,000	122,000

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
12	青森中央短期大学	学長 久保 薫 准教授 鈴木 寛康	青森中央短期大学連続公開講座事業	継続	健康づくりや青森県の食文化・郷土料理をテーマとする公開講座を3回開催し、健康増進の知識、青森県の生活習慣の現状等の知識を提供した。 〔受講者数:58名〕	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	115,000	73,488
13	青森中央短期大学	学長 久保 薫 准教授 鈴木 寛康	青森中央短期大学公開講座事業	継続	「災害・防災をもういちど自分事として考える:東日本大震災から10年、わたしたちにできること」をテーマにオンラインの公開講座を開催し、災害・防災に係る啓発、心の健康増進や地域コミュニティの活性化等につながる知識を提供した。 〔受講者数:29名〕	講座内容を大学ホームページに掲載した。	146,000	146,000
14	柴田学園大学	教授 一戸 智之	柴田学園大学「親子でわくわくカレッジ」事業	新規	「コロナストレスを親子で乗り切ろう」等の3つのテーマで、親子を対象とした公開講座を4回開催した。 〔受講者数:35名〕	公開講座の内容を大学ホームページに掲載した。	143,000	32,628
15	柴田学園大学	准教授 小野 昇平	「子どもの権利と家庭・学校・社会」に関する公開研究会事業	継続	スクールソーシャルワーカー等を講師とし、「学校における多職種連携」、「学校における人権教育実践」をテーマとするオンラインの公開研究会を2回開催した。 〔受講者数:51名〕	他団体との共催等により、昨年度より参加者が増加し、子どもの権利についての認識を広めることができた。	80,000	37,282
16	柴田学園大学	工藤 寧子	子育て者のための学び直し講座開催事業	新規	子育て中の方を対象として、通園バッグの作り方等の日常で使う知識の学び直しにつながる公開講座を3回開催した。 〔受講者数:38名〕	受講者に対し、子育て者が困っている内容の解決につながる知識を提供した。	133,000	77,897
17	柴田学園大学 生活創生学部	特任准教授 花田 裕 専任講師 吉田 裕美子	「子育て力」向上公開講座事業	新規	「親子における言葉かけについて」をテーマに、保護者に対する子どもへの言葉がけの講義及び親子での実践演習を行う公開講座を開催した。 〔受講者数:28名〕	公開講座の内容を大学地域資源活用センターの活動報告書及び大学ホームページに掲載した。	43,000	20,308

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
18	柴田学園大学短期大学部	学長 島内 智秋	柴田学園大学短期大学部 公開講座事業	継続	食物栄養、健康、保育・教育、ICT、音楽等の分野から、演習、実習等を中心に、学術及び生活文化と密着した内容の公開講座を12講座・21回開催した。 〔受講者数:133名〕	公開講座の内容を大学ホームページ等に掲載した。	228,000	209,359
19	青森中央経理専門学校	校長 石田 憲久 教諭 塚本 大広	青森中央経理専門学校公開講座事業	継続	ファイナンシャルプランナーを講師とし、「コツコツ投資を始めよう！iDeCo×つみたてNISA×変額保険」をテーマとする公開講座を開催した。 〔受講者数:27名〕	参加者にiDeCo等の内容を理解いただくとともに、これからのお金との付き合い方を考えるきっかけを提供した。	175,000	113,205
20	青森中央文化専門学校	校長 久保 薫 教諭 小笠原 華子	青森中央文化専門学校連続公開講座事業	継続	「伝統文化や現代の新しい手芸の知識と技術の習得」をテーマに、こぎん刺し及びビーズアクセサリーについての公開講座を10回開催した。 〔受講者数:80名〕	こぎん刺し、ビーズアクセサリーについて知識と技術を提供し、初心者、経験者ともに新たなデザインや技法の習得につながった。	220,000	195,271

④学術・文化振興事業

青森県内に事務所を有する等一定の要件を満たす団体が県内で行う地域の学術・文化の振興に寄与する事業

[助成決定額] 4件 969,000円
[助成確定額] 4件 881,191円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	理事長 石川 浩明	国際芸術センター青森における地域資源を活用した展覧会等事業	新規	小田原のどか個展「近代を彫刻／超克する－雪国青森編」及びヴィジョン・オブ・アオモリ特別編「大川亮コレクション－生命を打込む表現」を開催した。	438人に対し地域の文化資源の鑑賞機会を提供し、地域の学術・文化の振興に寄与した。	300,000	300,000
2	青森公立大学	学長 香取 薫	青森まるっとよいどころ祭り開催事業	2回目	青森中心市街地のさくら野百貨店において、「青森まるっとよいどころ祭り」を開催し、県内の4市町村の特産品を学生がPRした。	参加自治体の特産品を販売し、各地域のPRを図った。	300,000	212,191
3	青森中央短期大学	教授 前田 美樹	青森中央短期大学「まちなかdeミュージカル」公演事業	2回目	幼児保育学科の学生によるミュージカル「白雪姫」の公演を行い、教育・研究活動に基づく身体表現・音楽・美術の総合芸術であるミュージカル観劇の機会を提供した。	公演後に大学ホームページへの掲載及びオンデマンド動画配信を行った。	192,000	192,000
4	青森市産官学連絡会議	会長 長谷川 みほ 事務局 寺井 和夫	情熱無限大AOMORI SIX合同学修研究発表会事業	3回目	青森市内6大学・短期大学生等による学修成果発表の場として、第4回情熱無限大AOMORI SIX合同学修研究発表会(ウェブ展示)を開催した。	発表内容を青森市産官学連携プラットフォームホームページに掲載するとともに、青森公立大学地研ニューズレター等で公表した。	177,000	177,000

⑤学術図書出版事業

研究の成果を発表するために刊行する学術図書の出版事業

[助成決定額] 2件 585,000円
 [助成確定額] 1件 262,896円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	成果物の還元方法	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	遠藤 哲哉	学術図書出版「自治体経営と地域イノベーション（仮）」事業	新規	地域新ビジネスとイノベーション創発のための自治体コミュニティ戦略の展望をまとめた「自治体経営と地域イノベーションⅠ」を紙(200部)及び電子で出版した。	出版物を青森県内の公立図書館及び関係機関に寄贈した。電子書籍化し公開した。	300,000	262,896
2	青森中央学院大学	准教授 金 美和	学術図書『国際代理商契約』の出版事業	新規	【事業廃止】 刊行が延期となったため事業廃止。	—	285,000	0

[青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成]

⑥人材育成事業

学生の留学及び短期語学研修事業（公募により行うもの）

[助成決定額] 2件 2,991,000円

[助成確定額] 1件 136,584円

No	助成事業者名		事業名	区分	事業実施概要（事業廃止理由）	研修期間・人数	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1	青森公立大学	理事長 石川 浩明	青森公立大学学生の ニュージーランド短期語 学研修事業	継続	【事業廃止】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるニュージーランドへの渡航制限及び入国制限により事業の実施が困難なため事業廃止。	—	1,854,000	0
2	青森公立大学	理事長 石川 浩明	青森公立大学学生の ニュージーランドオンラ イン語学研修事業	新規	zoom等を利用し、ワイカト大学の英語能力向上を目的としたオンラインプログラムに学生を参加させ、英語のスキル向上に焦点を当てた学修により、実践的な英語に触れる機会を設け、学生支援を図った。	[研修期間] 令和3年8月9日～8月27日 [研修人数] 3名	1,137,000	136,584

[青森公立大学の国際交流を中心とした教育活動に対する助成]

⑦教員研修事業

教員の海外研修事業（公募により行うもの）

申請なし

⑧国際交流・教育事業

国際交流に関する教育事業

申請なし